



やまなし

学校教育目標 「心豊かに学びを拓く実践人」

～人や自然を大切に、社会に学びを拓く児童の育成～

学校でしか体験できないことを、充実していきたい

校長 原田 裕章

梅雨の時期にもかかわらず、早くも暑い日々が続き、刻々と夏の盛りに向かっていきます。山梨小でも、夏の訪れを感じる花々が元気に咲き、プールから子供たちの楽しそうな歓声が聞こえはじめました。

さて、6月1日は保護者の皆様、自治会の皆様からのボランティアによって、プール掃除のご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。皆様のご協力のおかげで、本年度のプール開きを6月25日に行うことができました。今の子供たちは、以前、コロナ禍であったために、経験できていないことがたくさんあります。教科書だけでは学ぶことのできない、実際に経験しないと分からないことも多くあるはずです。プールでの水泳学習もそうですが、今こそ学校は、学校でしか体験できないことを充実していきたいと思っております。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、今後とも子供たちの学習の充実のために、ボランティア等のご協力を、何卒よろしくお願いいたします。



さて、6月は「いじめゼロ集会」もあり、いじめをなくすために、一人一人が気をつけなければならないことを真剣に考え、話し合いました。また、教育相談を行い、日ごろの友達関係での悩みなどを、先生に相談している子もいました。いじめのない、円滑な人間関係を構築するためには、毎日の挨拶だけでなく、「ありがとう」や「ごめんなさい」の言葉も、大切にしたい言葉です。山梨小の子供たちは、日頃おから友達や上級生へ、また、お世話になっているふれあいパトロール隊の皆様やボランティアの方々へも、感謝の気持ちをこめて、「ありがとう」の言葉をたくさん言ってくれます。言われた人はうれしい気持ちになりますし、言った人も、自分が言った「ありがとう」の言葉を一番近くで聞くことで、無意識のうち

にうれしい気持ちになります。また、「ごめんなさい」の言葉は、自分が間違っていたことに対する謝罪の気持ちを素直に相手に伝える言葉です。「ごめんなさい」と言うことで、言われた人は穏やかな気持ちになりますし、言った人も自分の良心に従ったことで、穏やかな気持ちになるようです。山梨小は、この毎日の挨拶と「ありがとう」「ごめんなさい」、を自然に言うことができる子供たちの、更なる育成を目指し、子供たちが自らの力で、円滑な人間関係を築くことができるよう、教育していきます。これにより、子供たちが友人に囲まれ安心して登校し、「学校は楽しいな」「友達と勉強したい」と思えるよう、職員全員で努めてまいります。今後とも何卒、ご支援をよろしくお願いいたします。

最後にうれしい報告です。6月4日に行われた印旛郡市小学校陸上競技大会 5年女子走り高跳びにて、〇〇さんが第1位 優勝しました！

